

大関和 看護教育者。キリスト教信仰を背景に、近代看護婦のパイオニアとなり、生涯を看護婦養成に尽くした。

おおぜきちか

五ヶ国条約・1858 = 下野国黒羽村(栃木県那須郡黒羽町)で、黒羽藩家老大関増虎の次女に生まれる。

桜田門外変・1860 = 2歳 :

大政奉還・・1867 = 9歳 :

明治維新・・1868 = 10歳 : 明治維新により藩主が自刃し、父も家老職を辞職したため、一家で東京に移住。

明治6年政変 1873 = 15歳 :

三つの内乱・1876 = 18歳 : 同藩次席家老であった渡辺家と結婚、黒羽に戻る。

一男一女をもうけるが、

明治14年政変 1881 = 23歳 :

一夫一妻の約束が履行されないのを怒って、2児を連れて離婚。東京の実家に戻る。

内閣発足・・1885 = 27歳 : 牧師植村正久の弟正度の経営する正美英学塾に学び、一夫一婦を説くキリスト教の教義に感銘、

帝国大学始・1886 = 28歳 : 植村に勤めて、キリスト教の愛に適う看護婦をめざし、桜井女学校付属看護婦養成所の第1期生となる。

国民之友始・1887 = 29歳 : 東京一番町教会で、植村から受洗。

初の対等条約 1888 = 30歳 : 看護婦の資格を取得、近代教育を受けた初の看護婦として、帝国大学付属病院外科看護婦取締となる。献身的な看護で患者たちの絶大な信頼を得るが、

帝国憲法発布 1889 = 31歳 :

帝国議会始・1890 = 32歳 : 看護婦の重要性・資質の向上・労働条件の改善を求め建議書を提出するが受け入れられず辞職。偶然の出会いから、女子学院の姉妹校の新潟県の高田女学校の舎監兼伝道師となり、赴任。

この間、日本基督教婦人矯風会に入会し、廃娼を唱える。

日清戦争始・1894 = 36歳 : 知命堂病院婦長などを務めたのち、

その間、社会主義者木下尚江との結婚を断念し、女子学院での恩師ツルーの病気を機に東京に戻り、

白馬会・・・1896 = 38歳 : 桜井女学校の同期生鈴木雅の設立した東京看護婦会講習所の講師となり、

次いで雅の後任として東京看護婦会会頭となる。

Bushidou・・1899 = 41歳 : 看護婦界初の団体である大日本看護婦人矯風会を設立し、機関誌を発行。

日比谷公園・1903 = 45歳 :

日露戦争終・1905 = 47歳 :

韓国併合・・1910 = 52歳 : 著書「実地看護法」、

大逆事件判決 1911 = 53歳 : 著書「看護婦派出心得」、

明治天皇没・1912 = 54歳 :

大関和条約・1919 = 61歳 : 神田猿楽町に、*キリスト教の精神に基づく愛と奉仕の看護婦育成のための{大関看護婦会}を設立。

原敬首相暗殺 1921 = 63歳 :

優秀な看護婦を多く輩出し、大関看護婦会の評判は高まって行く。

のち同会は神田錦町、飯田町、本郷弓町へ移転。

海軍軍縮条約 1930 = 72歳 :

満州事変・・1931 = 73歳 :

五一五事件・1932 = 74歳 : 生涯を看護婦の社会的地位の確立と後進の指導に尽くして、没した。

インターネット「郷土の偉人を学ぶ」ほか、